

中学校 3年 国語科

考える × 読む 書く

育成したい 国語力

文章や資料から自分の経験や知識につなげて考えを深め、表現に役立てる。多様な事実や経験、事項と自分の考えをつなげながら、より効果的に書く。

単元名

豊かな言葉 「俳句の可能性」

本時の目標

主体的な活動を通して、俳句の豊かな世界を感じ取り、鑑賞文に表す。(読む能力)

単元の流れ

第1時

- ・「言葉とイメージ」(比較)
- ・俳句の基礎知識(教科書等を活用)

第2時

- ・教科書俳句の「技法・大意・鑑賞文」の記述と作成(教科書・ワークシート等の活用)

第3時(本時)

- ・グループによる課題俳句の鑑賞文の作成

第4時

- ・課題俳句鑑賞文発表会(グループ代表が先生)
- ・課題俳句鑑賞文テスト(調べた鑑賞文の記述)

本時(第3時)の流れ

導入

一斉

本時の目標を確認
「俳句の鑑賞文を書く」

前時の学習の確認

教科書やワークシートを活用して教科書の俳句五首を振り返る。

学習方法の確認

各グループが俳句一首を担当する。グループで調べたり話し合ったりして鑑賞文を作成する。グループ代表が先生としてクラスで講義をする。

展開

グループ

グループ活動

- グループで協力して調べたり話し合ったりして、ワークシートを完成させていく。
- ・便覧・辞書・準備資料等の活用(図書室や学習室、コンピュータ室等)
- ・共同制作の推進
- ・教師の適切な助言

まとめ

一斉

本時のまとめ

各グループの話し合いや作業のシェアリング(状況や感想の発表)

次時の予告

ワークシート

| | | |
|---|---------------------|--------|
| 1 | 大野林火についてまとめるよう。 | 大野林火 |
| 2 | あそびあそびを残して葉分け | |
| 3 | 俳句や短歌の「技法」について調べよう。 | 技法・その他 |
| 4 | 俳句の「大意」について調べよう。 | 大意 |
| 5 | 俳句の「鑑賞文」について調べよう。 | 鑑賞文 |

上段の課題や設問を、調べたりグループで話し合ったりして完成させます。
上段の記述内容をプリントにして、下段の「大意」と「鑑賞文」を書きます。
下段の「大意」と「鑑賞文」を、グループで話し合って推敲を加え、完成させます。

国語力育成の視点

教科書の和歌の鑑賞を一斉授業で行います。「大意」や「鑑賞文」等の具体的な書き方やその視点をモデルに沿って学習することで、グループによる応用学習に備えます。「鑑賞文」等を作成するためのグループ討議をする上で、具体的な課題を分かりやすく示すことで、活動を焦点化します。ワークシートの上段に、課題俳句について調べたり意見を出し合ったりするための設問を載せ、その設問に取り組むことでワークシート下段の「鑑賞文」等を書くことができます。文章や資料、また他人の意見を活用し、自分の経験や知識に生かして考えを深めるとともに、文章をより効果的に書けるようにグループで高め合い、考える力を育成します。